

## 第 75 回価格審査委員会議事要旨

開催日時、場所	平成 22 年 1 月 13 (水) 午前 10 時 00 分～11 時 30 分 経済調査会会議室
出席委員	江花典彦、加藤佳孝、佐久田昌治(委員長)、鈴木準 (五十音順)

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果																																							
<p>1. 前回議事概要の確認</p> <p>2. 「積算資料」 2 月号土木系資材の価格変動の妥当性について</p>	<p>・ 前回議事概要案が承認された。</p> <p>・ 審査対象資材のうち、2 月号で掲載価格に変動が生じる土木系資材、都中について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は次のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">&lt;品目&gt;</th> <th style="text-align: center;">[地区]</th> <th style="text-align: center;">(理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3"><b>【上申した資材】</b></td> </tr> <tr> <td>鉄屑</td> <td>那覇</td> <td>鉄屑発生が少ない中で品不足から一時的ながら、上申。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td>秋田</td> <td>工場の集約化を図るなど協組、員外社の値上げ交渉が進展し、小幅ながら上申。</td> </tr> <tr> <td>ストレートアスファルト</td> <td>那覇</td> <td>他地区に遅れる中で前月の値上げ交渉が決着し、上申。</td> </tr> <tr> <td>ヒューム管</td> <td>岡山</td> <td>メーカーの昨年来からの値上げが浸透して、上申。</td> </tr> <tr> <td colspan="3"><b>【下落した資材】</b></td> </tr> <tr> <td>異形棒鋼</td> <td>那覇を除く全国</td> <td>需要不振のなかでメーカーは生産調整を実施しているものの、先安感から需要家は様子見の姿勢が強く、前月に続いて下落。</td> </tr> <tr> <td>H 形鋼</td> <td>東北を除く全国</td> <td>メーカーの減産体制にもかかわらず需要の落ち込みから流通の競合が激しく、下落。</td> </tr> <tr> <td>鉄屑</td> <td>名古屋、大阪</td> <td>電炉メーカーの買い控えの中で、輸出向け価格の下落の影響を受けて、下落。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td>高松</td> <td>協組の共販体制が崩れ、員外社との競合が激化するなかで、下落。</td> </tr> <tr> <td>コンクリート用砂 (細目)</td> <td>徳島</td> <td>需要の伸び悩み、在庫のダブつきから安値品が出回り、下落。</td> </tr> <tr> <td>軽油</td> <td>全国</td> <td>内需の低迷、輸出向けの低調により、下落。</td> </tr> </tbody> </table> <p>○この時期に、全国的にみて生コンの秋田地区の値上げが成功した理由は何か。</p> <p>○H 形鋼は大都市ほど価格が低い理由は何か。</p>	<品目>	[地区]	(理由)	<b>【上申した資材】</b>			鉄屑	那覇	鉄屑発生が少ない中で品不足から一時的ながら、上申。	生コンクリート	秋田	工場の集約化を図るなど協組、員外社の値上げ交渉が進展し、小幅ながら上申。	ストレートアスファルト	那覇	他地区に遅れる中で前月の値上げ交渉が決着し、上申。	ヒューム管	岡山	メーカーの昨年来からの値上げが浸透して、上申。	<b>【下落した資材】</b>			異形棒鋼	那覇を除く全国	需要不振のなかでメーカーは生産調整を実施しているものの、先安感から需要家は様子見の姿勢が強く、前月に続いて下落。	H 形鋼	東北を除く全国	メーカーの減産体制にもかかわらず需要の落ち込みから流通の競合が激しく、下落。	鉄屑	名古屋、大阪	電炉メーカーの買い控えの中で、輸出向け価格の下落の影響を受けて、下落。	生コンクリート	高松	協組の共販体制が崩れ、員外社との競合が激化するなかで、下落。	コンクリート用砂 (細目)	徳島	需要の伸び悩み、在庫のダブつきから安値品が出回り、下落。	軽油	全国	内需の低迷、輸出向けの低調により、下落。
<品目>	[地区]	(理由)																																						
<b>【上申した資材】</b>																																								
鉄屑	那覇	鉄屑発生が少ない中で品不足から一時的ながら、上申。																																						
生コンクリート	秋田	工場の集約化を図るなど協組、員外社の値上げ交渉が進展し、小幅ながら上申。																																						
ストレートアスファルト	那覇	他地区に遅れる中で前月の値上げ交渉が決着し、上申。																																						
ヒューム管	岡山	メーカーの昨年来からの値上げが浸透して、上申。																																						
<b>【下落した資材】</b>																																								
異形棒鋼	那覇を除く全国	需要不振のなかでメーカーは生産調整を実施しているものの、先安感から需要家は様子見の姿勢が強く、前月に続いて下落。																																						
H 形鋼	東北を除く全国	メーカーの減産体制にもかかわらず需要の落ち込みから流通の競合が激しく、下落。																																						
鉄屑	名古屋、大阪	電炉メーカーの買い控えの中で、輸出向け価格の下落の影響を受けて、下落。																																						
生コンクリート	高松	協組の共販体制が崩れ、員外社との競合が激化するなかで、下落。																																						
コンクリート用砂 (細目)	徳島	需要の伸び悩み、在庫のダブつきから安値品が出回り、下落。																																						
軽油	全国	内需の低迷、輸出向けの低調により、下落。																																						
	<p>・ 工場の集約を図るなど協組の市況回復への取組や員外社の値上げへの同調幾重などによる。ただ、需要家の抵抗が強く、値上げ打ち出し額までには至らず、小幅な上昇にとどまっている。</p> <p>・ 大都市は工事物件の取り合いをめぐって競合が激しいが、地方都市は工事物件自体が少なく、価格は大都市の相場見合いで決まる。</p>																																							

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果												
<p>3. 「積算資料」2月号建築系資材の価格変動の妥当性について</p> <p>○ガス管のここ2年間の価格推移をみると、上昇期は原材料価格見合いの上昇、下降期は販売競争の激化ということか。</p> <p>4. その他</p> <p>(1) ストアスの供給不足について</p> <p>(2) 次回開催予定</p>	<p>・審査対象資材のうち、2月号に掲載価格に変動が生じる建築系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は次のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p> <table border="1" data-bbox="630 347 1452 604"> <thead> <tr> <th data-bbox="702 358 798 392">&lt;品目&gt;</th> <th data-bbox="957 358 1021 392">[地区]</th> <th data-bbox="1252 358 1324 392">(理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="638 403 798 436"><b>【下落した資材】</b></td> </tr> <tr> <td data-bbox="630 459 742 492">型枠用合板</td> <td data-bbox="885 459 941 492">中部</td> <td data-bbox="1117 459 1452 492">市中の荷余り感が解消されず、下落。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="630 526 702 560">ガス管</td> <td data-bbox="885 526 941 560">全国</td> <td data-bbox="1117 526 1452 593">実需不振から販売店の競争が激化して、下落。</td> </tr> </tbody> </table> <p>・上昇の時期は鉄鉱石等原材料価格の高騰が景響している。製造業者等の利益が拡大したわけではない。下落の時期は原材料価格の値下がりや需要の落ち込みが景響している。</p> <p>・新聞報道による「ストアスの供給不足」について説明。</p> <p>・平成22年2月12日(金) 午前10時～12時と決定。</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>	<品目>	[地区]	(理由)	<b>【下落した資材】</b>			型枠用合板	中部	市中の荷余り感が解消されず、下落。	ガス管	全国	実需不振から販売店の競争が激化して、下落。
<品目>	[地区]	(理由)											
<b>【下落した資材】</b>													
型枠用合板	中部	市中の荷余り感が解消されず、下落。											
ガス管	全国	実需不振から販売店の競争が激化して、下落。											

## 価格審査委員会規約

### (目的)

第1条 財団法人 経済調査会が実施する資材価格及び工事費(以下「資材価格等」という。)の調査結果について、その妥当性を高め調査の信頼性を向上させることを目的として、第三者による価格審査委員会(以下「委員会」という。)を設置するものとする。

### (委員会の事務)

第2条 委員会は、理事長の委嘱に基づき、次の事務を行う。

- 一 資材価格等(定期刊行物に掲載するものに限る。以下同じ。)の調査結果の妥当性について審査すること。審査は公共工事において重要度の高い品目、工事費を選定して行うものとする。
- 二 その他資材価格等の調査に関して必要と認められる事項について審議すること。

### (委員会の委員及び任期)

第3条 委員は、公正中立の立場で審査を適切に行うことのできる学識経験等を有する者のうちから、理事長が委嘱する。

- 2 委員会は、委員8人以内で組織する。
- 3 委員の任期は、2年とする。ただし再任を妨げない。また、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、非常勤とする。

### (委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選任する。

- 2 委員長は、委員会を代表する。
- 3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

### (委員会の開催)

第5条 委員会は、委員長が招集し、原則として毎月1回開催する。

### (審査の報告・助言)

第6条 委員会は、第2条により審査の対象となった事項に関し、必要に応じて理事長に対し審査結果の報告または助言を行う。

### (意見等の聴取)

第7条 委員会は、第2条の事務を行うにあたり、必要に応じて委員以外の者から意見等を聴取することができる。

(秘密を守る義務)

第 8 条 委員は第 2 条の事務を処理する上で知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(事務局)

第 9 条 委員会の事務局は、財団法人 経済調査会 調査監理部審査室に置く。なお事務局は価格動向、価格変動理由、他調査機関の調査結果との比較資料等を委員会に提出するものとする。

附則

この規約は、平成 15 年 11 月 13 日から施行する。

この規約は、平成 16 年 4 月 13 日から改訂施行する。

この規約は、平成 18 年 4 月 13 日から改訂施行する。

この規約は、平成 21 年 4 月 13 日から改訂施行する。